

令和4年度 事業報告書

公益社団法人日本近代五種協会

令和4年度、新型コロナウイルス感染症の影響が続き事業計画が変更となる中、本協会としてできる限りの諸事業を次のように実施した。本協会の社会的役割を深く認識し、競技の振興と普及を目指し国内外の情報を分析して競技の発展に努めると共に、上部団体、加盟団体、並びに関係機関や団体との連携を強化し、諸事業を行った。新型コロナの関係で実施できなかった合宿、大会等が、規制を順守しつつ実施することができた。

1. 我が国の近代五種競技に係る競技力の向上に関すること。

① 国際大会派遣

- (1) ワールドカップシリーズに選手団を派遣した。
 - ア ワールドカップ第2戦ハンガリー大会（ブダペスト市）
2022年4月23日～5月2日：選手7名、スタッフ5名
 - イ ワールドカップ第3戦ブルガリア大会（アルベナ市）
2022年5月2日～4月17日：選手7名、スタッフ5名
 - ウ ワールドカップ第4戦トルコ大会（アンカラ）
2022年6月4日～6月13日：選手5名、スタッフ3名
 - エ ワールドカップ・ファイナル トルコ大会（アンカラ）
2022年6月23日～6月26日：選手2名、スタッフ2名
 - オ ワールドカップ第1戦エジプト大会（カイロ）
2023年3月4日～3月12日：選手8名、スタッフ6名
- (2) ジュニア世界選手権大会に選手団を派遣した
2022年10月2日～10月9日：選手1名、スタッフ2名
- (3) シニア世界選手権大会に選手団を派遣した。
2022年8月24日～8月31日：選手8名、スタッフ7名
- (4) アジア選手権大会に選手団を派遣した。
2022年9月13日～9月25日：選手6名、スタッフ5名
- (5) U17-U19世界選手権大会に選手団を派遣した。
2022年9月2日～9月13日：選手3名、スタッフ3名
- (6) ハンガリーインドアオープン大会
2023年2月12日～2月21日：選手2名、スタッフ3名
- (7) 近代3種世界選手権大会に選手団を派遣した。
2022年 UIPM ビアスレ・トライアスレ世界選手権大会(ポルトガル)
・2022年10月23日～11月1日：選手14名・スタッフ7名

② 国内強化合宿

- (1) JOC 選手強化事業および次世代アスリート育成強化事業
 - ア ジュニア・ユース国内合宿①
2022年8月20日～8月27日（リソルの森）：選手4名、スタッフ3名
 - イ ジュニア・ユース国内合宿②
2022年9月24日～9月28日（リソルの森）：選手3名、スタッフ2名
 - ウ ジュニア・ユース国内合宿③
2022年10月22日～10月30日（リソルの森）：選手5名、スタッフ4名
 - エ ジュニア・ユース国内合宿④
2022年12月19日～12月12日（朝霞市）：選手3名、スタッフ2名
 - オ 3種競技の次世代選手合宿を年2回実施した

(2) JRA 助成事業

シニア 3 回、ジュニア・ユース 2 回の馬術強化合宿を実施した。

ア シニア

- a 第 1 次シニア NT 馬術強化合宿
2022 年 7 月 4 日～7 月 8 日（壬生）：選手 9 名、スタッフ 7 名
- b 第 2 次シニア NT 馬術強化合宿
2022 年 12 月 5 日～12 月 9 日（壬生）：選手 9 名、スタッフ 12 名

イ ジュニア・ユース

- a 第 1 次ジュニア・ユース馬術強化合宿
2022 年 7 月 23 日～7 月 29 日（壬生）：選手 5 名、スタッフ 4 名
- b 第 2 次ジュニア・ユース馬術強化合宿
2022 年 9 月 24 日～9 月 28 日（リソルの森）：選手 3 名、スタッフ 2 名
- C 第 3 次ジュニア・ユース馬術強化合宿
2022 年 10 月 22 日～10 月 30 日（リソルの森）：選手 5 名、
スタッフ 4 名

キ 3 種競技の JRA 次世代選手合宿を年 3 回実施した

③ 日韓交流事業

韓国との交流事業は中止となった。

2. 近代五種競技の普及に関すること。

- a) 各所において「射撃、フェンシング、馬術」の体験教室を実施した。
- b) 協会ホームページの充実をはかり、広く会員を募集するとともに企業と連携した普及活動を実施した。

3. 近代五種競技に係る競技大会に関すること。

- a) 第 62 回全日本選手権大会（令和 4 年 11 月 17 日～19 日）を開催した。
コロナ感染防止策を徹底し、大会は静岡県御殿場市近郊において有観客で開催した。
- b) 第 10 回近代 3 種日本選手権大会兼第 17 回 JOC ジュニアオリンピックカップ（令和 4 年 10 月 1・2 日）を開催した。
- c) ランキング戦 3 回、記録会は 3 回開催できた。

4. 公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本スポーツ協会への加盟に関すること。

- a) 評議員会、総会に出席した。
- b) スポーツ指導者育成に関する会議に出席した。
- c) 情報システムに関する会議に出席した。
- d) 競技力強化に関する連絡会議等に出席した。
- e) その他運営に関する協力を全面的に行った。

5. 近代五種競技に係る国際的な団体への加盟に関すること。

- a) アジア近代五種連合（AMPC）に関するコンGRES は Web 会議で出席した。
- b) 国際近代五種連合（UIPM）に関するコンGRES は Web 会議で出席した。

6. 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するための必要な事業に関すること。

- a) アンチ・ドーピング活動として合宿及びオンラインにて指導講習会、全日本選手権大会のドーピング検査を実施した。
- b) UIPM ルール改正における審判員の技能維持に必要な事業を推進した。
- c) 国際大会運営に関する知識等を習得するためワールドカップ・アンカラ(トルコ)大会へ3名派遣し知識技能の習得を推進した。
- d) 財政基盤確立の為、協賛企業と契約をした。

以上